

(研究名)

心不全患者における入院中の身体不活動時間に関する因子の検討

1. 研究の対象

2024年10月1日から2025年4月30日までの期間で、当センターの4階西病棟（主科は循環器内科）に入院した80歳以上の心不全患者さんです。

2. 研究の背景・目的・方法・期間

〔背景〕

近年では、高齢化にともない複数の併存症（他の病気）をもつ心不全患者が増加しており、フレイルやサルコペニアといった運動機能低下をきたしているかたも多いです。特に入院生活というものは、自宅とは違い日中の活動量が少なくなるため、早期からリハビリをしていたとしても、入院を機に歩行をはじめとする生活能力が低下しやすくなります。

〔目的〕

入院中の心不全患者さんにおいて、日中の活動量を計測し、身体不活動時間（寝ている～座っている程度の負荷量）に関する因子を調査します。また、身体不活動時間と退院時における体力の関係性についても評価します。

〔方法〕

入院後、手首に時計型の活動量分析計（iAide 株式会社トーカイ製）を装着し、入浴時以外は装着したままで入院生活を過ごしていただきます。退院時にスタッフが回収し、装着期間中の活動量を専用サイト（iAide 管理ツール）で確認させていただきます。対象者のかたは入院中に特に変わったことをするわけではなく、日常のケアやリハビリなど一般的な入院生活をおくっていただきます。

〔期間〕

倫理委員会承認後から2025年12月31日まで

3. 研究に用いる資料・情報の種類

iAide 管理ツール内にて、歩数、身体不活動時間、歩行強度、脈拍数などの情報を収集します。診療録からは、年齢、性別、既往歴、入院前の生活状況、認知機能、身体機能、食事摂取量または栄養状態、点滴が終了した日、退院時における運動能力などの情報を収集します。

4. 個人情報の取扱いについて

データ収集の際には患者さんの氏名およびIDを参照しますが、外部への公開（学会での報告や論文執筆）の際には、代わりに新しく符合または番号をつけて仮名化処理を行い、個人を特定できないようにします。また、それらの抽出データは、外部ネットワークと切り離されたパスワードロックのかかるパソコン上に保存します。この研究で得られた情報は研究責任者（奥村高弘）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。なお、本研究において得られた情報は、院外への発表が行われてから1年保管し、適切に廃棄します。

5. 外部への試料・情報の提供

本研究の結果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

研究結果および報告内容に関しては、仮名化し個人情報特定できないよう配慮し、今回の研究目的以外に使用することはありません。

6. 研究組織

研究責任者

近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション技術科 奥村高弘

研究担当者

近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション技術科 森本順子 尾上良歩 横家涼 馬田菜摘

7. お問い合わせについて

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書等の資料を入手・閲覧することが出来ます。

また、本研究対象に該当するかたで、調査後であっても本研究にご自身のデータを使用されたくないと思った場合、その求めに応じて対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することを停止いたします。停止を求められる場合には、2025年12月31日までに下記の連絡先までお申し出ください。なお、了承の有無にかかわらず、患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究に了承いただけない場合の連絡先】

近江八幡市立総合医療センター リハビリテーション技術科 奥村高弘（研究責任者）

〒523-0082 滋賀県近江八幡市土田町 1379 番地

TELL 0748-33-3151